



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)による死亡患者の発生について

呉市内の医療機関から呉市保健所に、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の患者発生の届出(呉市で19例目、死亡は平成27年以来の2例目)がありました。

SFTSはマダニを媒介とする感染症であり、感染源となるマダニは、春から秋にかけて活動が盛んになります。マダニに咬まれない予防策について周知協力をお願いします。

1 患者の概要

届出年月日：令和3年7月21日

住 所：呉市内

年齢・性別：90歳代女性

症 状：発熱，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少

経 過：7月14日入院，7月19日死亡

そ の 他：刺し口なし。農作業あり

(令和3年7月21日現在)

年	H29	H30	R1	R2	R3
発生患者数	2	3	1	4	2
うち死亡	0	0	0	0	1

2 感染予防対策

(1) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは

SFTSウイルスと呼ばれる病原体を持ったマダニ類に刺咬されることによって感染する病気です。人から人へ感染して広がるものではありません。

マダニに咬まれて6日～2週間程度の潜伏期間後、主に発熱，消化器症状，時に頭痛，筋肉痛，神経症状，リンパ節腫脹，呼吸器症状，出血症状が出現します。

(2) 感染予防対策

マダニに咬まれないようにすることが重要です。

- ・ 長袖，長ズボン，足を完全に覆う靴，帽子，手袋を着用し，首にタオルを巻く等，皮膚の露出を少なくする。
- ・ 屋外活動後は，体や服をはたき，マダニに咬まれていないか確認する。
- ・ 吸血中のマダニに気がついた際，無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿するなどの恐れがあるため，医療機関（皮膚科など）で処置をしてもらう。
- ・ マダニに咬まれた後に，発熱等の症状があった場合は，医療機関を受診する。

お願い

報道機関各位におかれましては，感染症法の精神に基づき，プライバシー保護及び風評被害について格段のご配慮をお願いいたします。